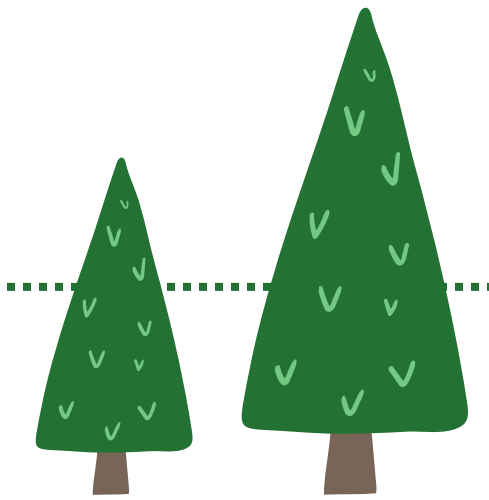


Urasoe
General
Hospital



社会医療法人 仁愛会 リハビリテーション職 説明資料 2025





01

仁愛会について

02

リハビリテーション部について

03

多職種連携の取り組みについて

04

教育・キャリア支援について

05

求める人材像について

Table of Contents

仁愛会ってどんなところ？

01



社会医療法人 仁愛会とは



浦添総合病院



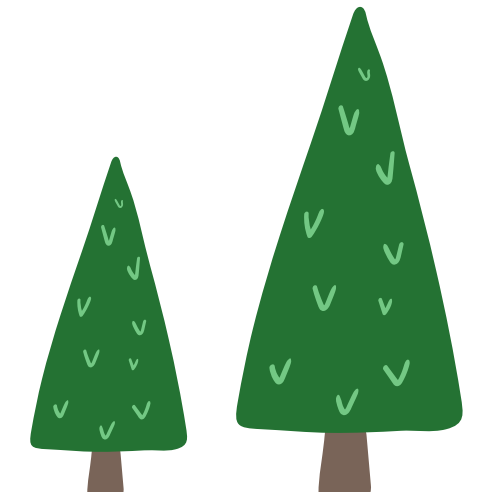
在宅総合センター



健診センター

【附帯事業】

- ・つるかめ訪問看護ステーション
- ・ヘルパーステーションらくだ
- ・ことぶき居宅介護支援事業所
- ・ヘルスアップステーションうらそえ
- ・訪問リハビリテーションアルカディア
- ・浦添市地域包括支援センターみなとん/さっとん
- ・浦添市事業所内保育事業認可保育園 もこもこ保育園
- ・労働者派遣法に基づく労働者派遣事業
- ・生活困窮者自立支援法に基づく就労訓練事業
- ・介護保険法に基づく介護予防/日常生活支援総合事業



仁愛会の理念



Philosophy

地域住民のニーズを満たす保健・医療・福祉

信頼と人間性豊かな保健・医療・福祉

働き甲斐のある職場

仁愛会の職員であることが誇れる企業

浦添総合病院とは

【理事長】 銘苅 晋



【病院長】 伊志嶺 朝成



【病床数】 334床

【診療科目】

救急救命センター、病院総合内科、呼吸器内科、呼吸器外科
消化器内科、外科、循環器内科、心臓血管外科、整形外科
脳神経外科、神経内科、腎臓内科、腎・泌尿器外科
乳腺外科、緩和ケア、糖尿病内分泌科、耳鼻咽喉科
歯科口腔外科、リハビリテーション科、形成外科
臨床検査科、病理診断科、放射線科、麻酔科



浦添市人口	115,536人
男	56,116人
女	59,420人



浦添総合病院（DPC標準病院群）

【職員数】 1,042人（令和6年1月1日現在）

【施設認定等】

- 救急告示病院
- 地域医療支援病院
- 救命救急センター
- へき地医療拠点病院
- 地域災害拠点病院
- 基幹型臨床研修指定病院
- 新型コロナウイルス感染症重点医療機関 etc



集中系	救急救命センター	19床	ICU	12床	HCU	16床
一般床	脳外科病棟	36床	整形外科・脊椎疾患病棟	36床	内科・感染症・形成病棟	36床
	循環器病棟	36床	消化器病棟	36床	腫瘍病棟	35床
	外科病棟	36床	看護必要度病棟	36床	合計	334床



在宅総合センターとは



すべてのサービスは
利用者のために

【施設長】 古謝 早苗



ご利用者様が「住み慣れた地域・自宅でその人らしい生活を1日でも長く継続できるよう支援する」地域の在宅ケアの中心



介護老人保健施設
アルカディア(入所)

入所・ショートステイの施設・
在宅復帰支援をしています。



通所リハビリテーション
アルカディア(デイケア)

介護保険を使って、通いでリ
ハビリをする事業所です。



訪問リハビリテーション
アルカディア

持っている能力に応じ自立した
生活を送れるよう支援しま
す。



訪問看護ステーション
つるかめ

住み慣れた家で自立した療
養生活が送れるように支援し
ます。



02

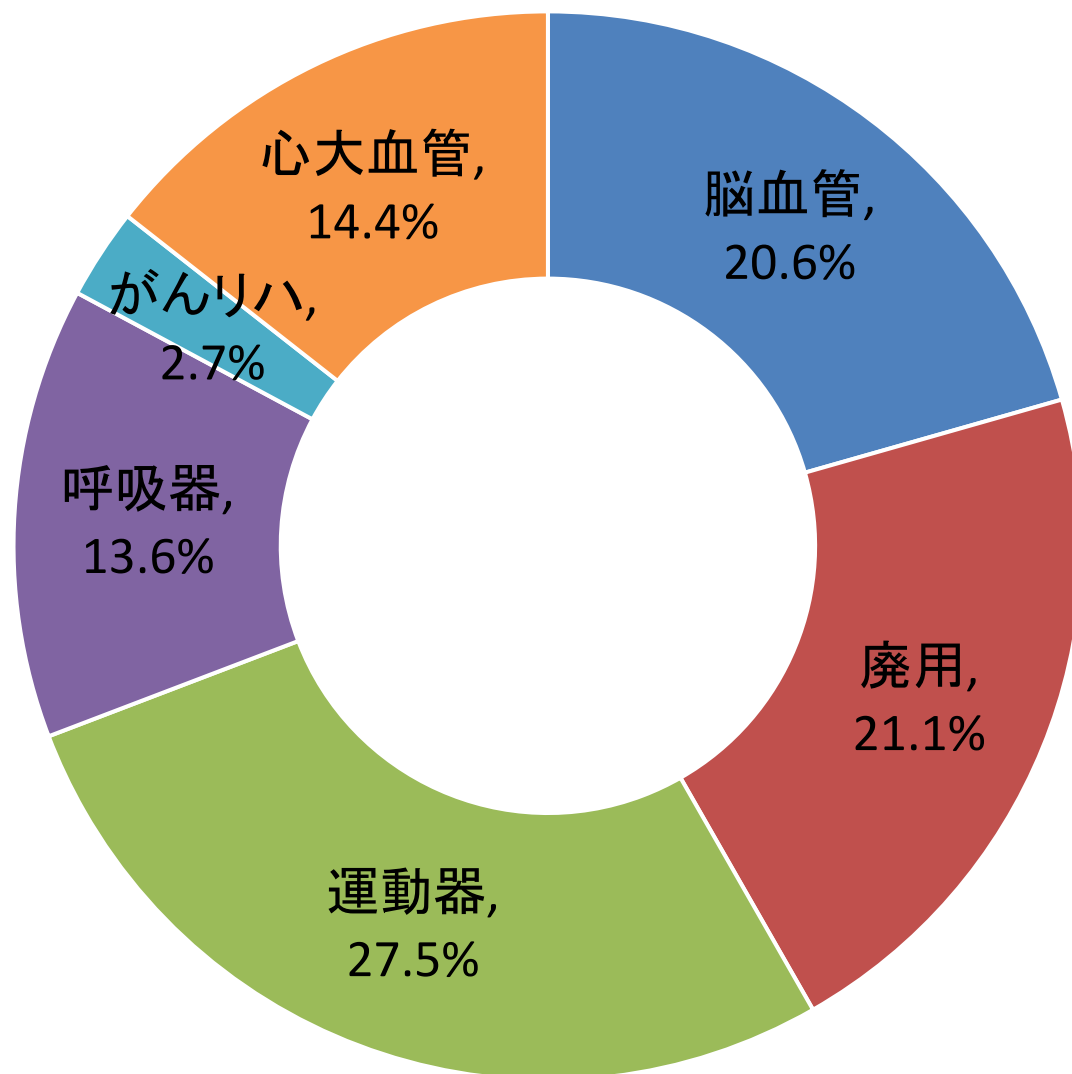
リハビリテーション部って
どんなところ？



PT

急性期から在宅支援まで

「運動」の力で、生活を支える
「運動療法」のプロフェッショナルとして

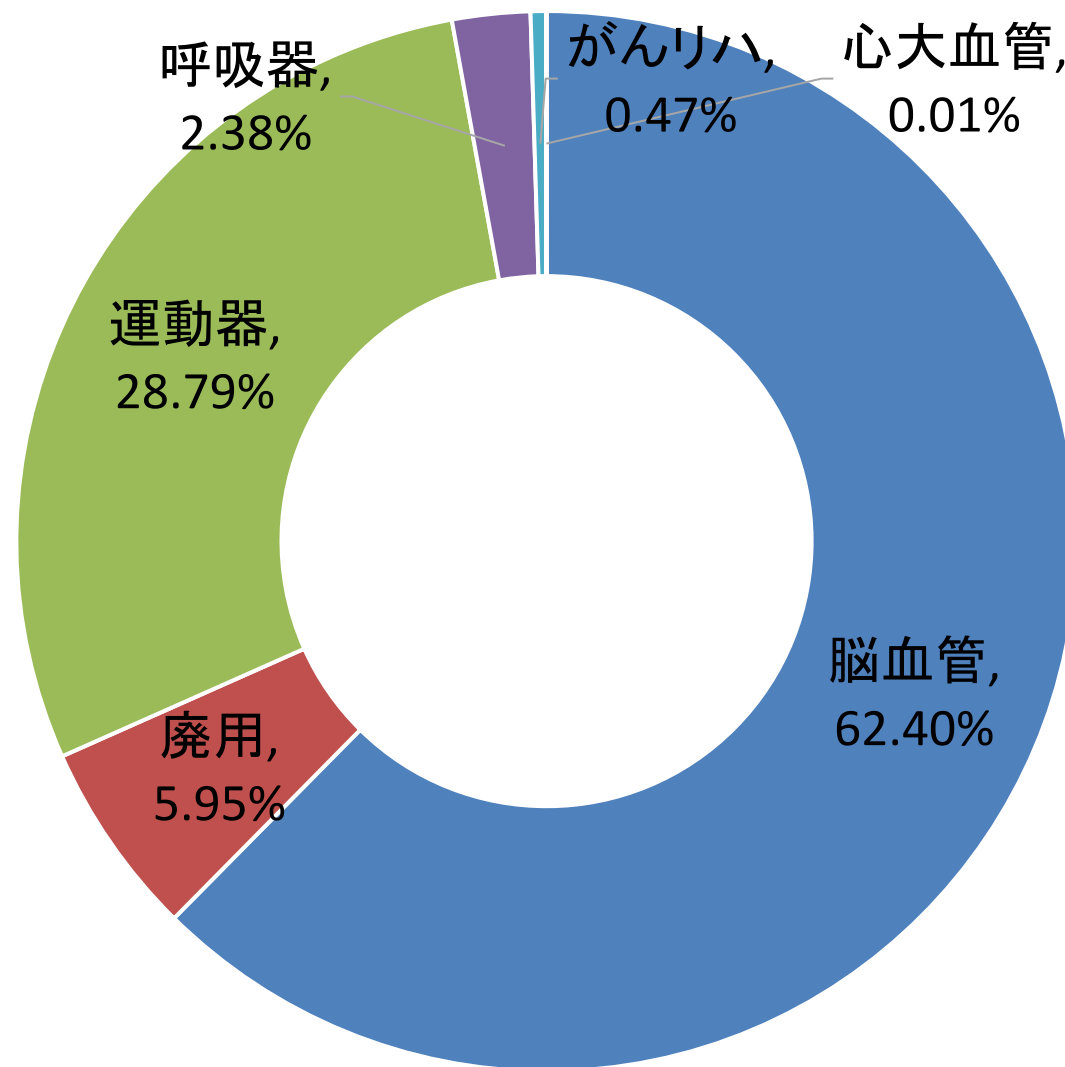


急性期・在宅・スポーツなど多様な現場で、ジェネラリストとしての力と各領域の専門性を育てます。多職種連携のもと、あなたの「やりたい」を最大限活かせる環境がここにあります。

OT

急性期から在宅支援まで

「できる」を支える、生活の専門家
「ADL/IADL」のプロフェッショナルとして

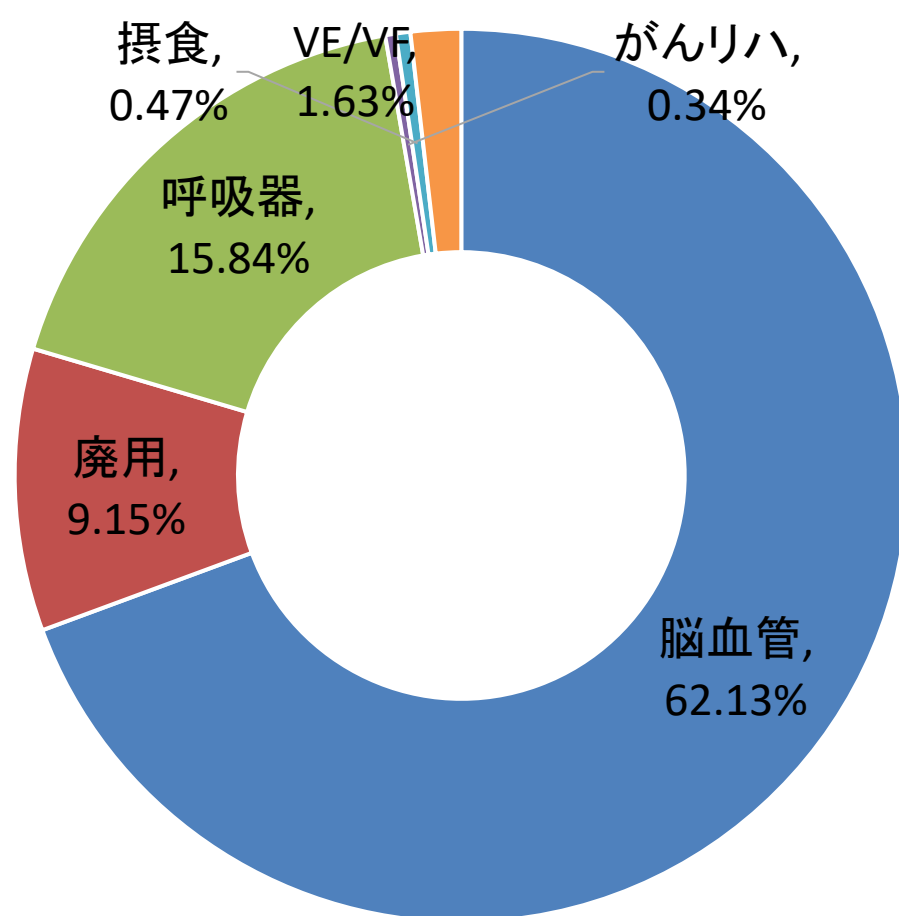


ADL・IADLの自立支援に加え、ハンドセラピーや高次脳機能障害への専門的アプローチを展開。
確かな技術とチーム連携で、一人ひとりの「その人らしい生活」を取り戻す支援を行います。

ST

急性期から在宅支援まで

「話す」「聞く」「食べる」を支える
コミュニケーションと嚥下のプロフェッショナルとして



コミュニケーションに関するリハビリに加え、当院では摂食嚥下支援に特に注力しています。
多職種と連携しながら、「安全に食べる」「自分の想いを伝える」力を取り戻す支援を行っています。
一人ひとりのQOLに寄り添う、やりがいのあるフィールドです。

2025年度 法人内のリハスタッフ数（2025.4月）

PT
58名

病院44
在宅14

新人6名（病院5名、在宅1名）
育休3名（病院2名、在宅1名）

OT
19名

病院13
在宅6

新人2名（病院2名）
育休1名（病院1名）

ST
7名

病院6
在宅1

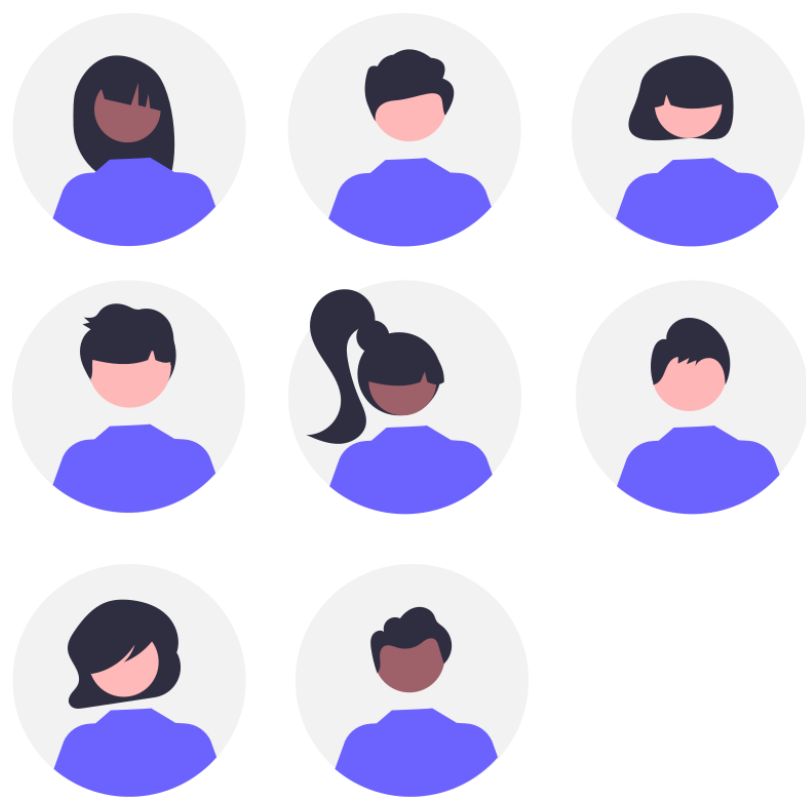
育休1名（病院1名）

健康運動
指導士
1名

助手
3名

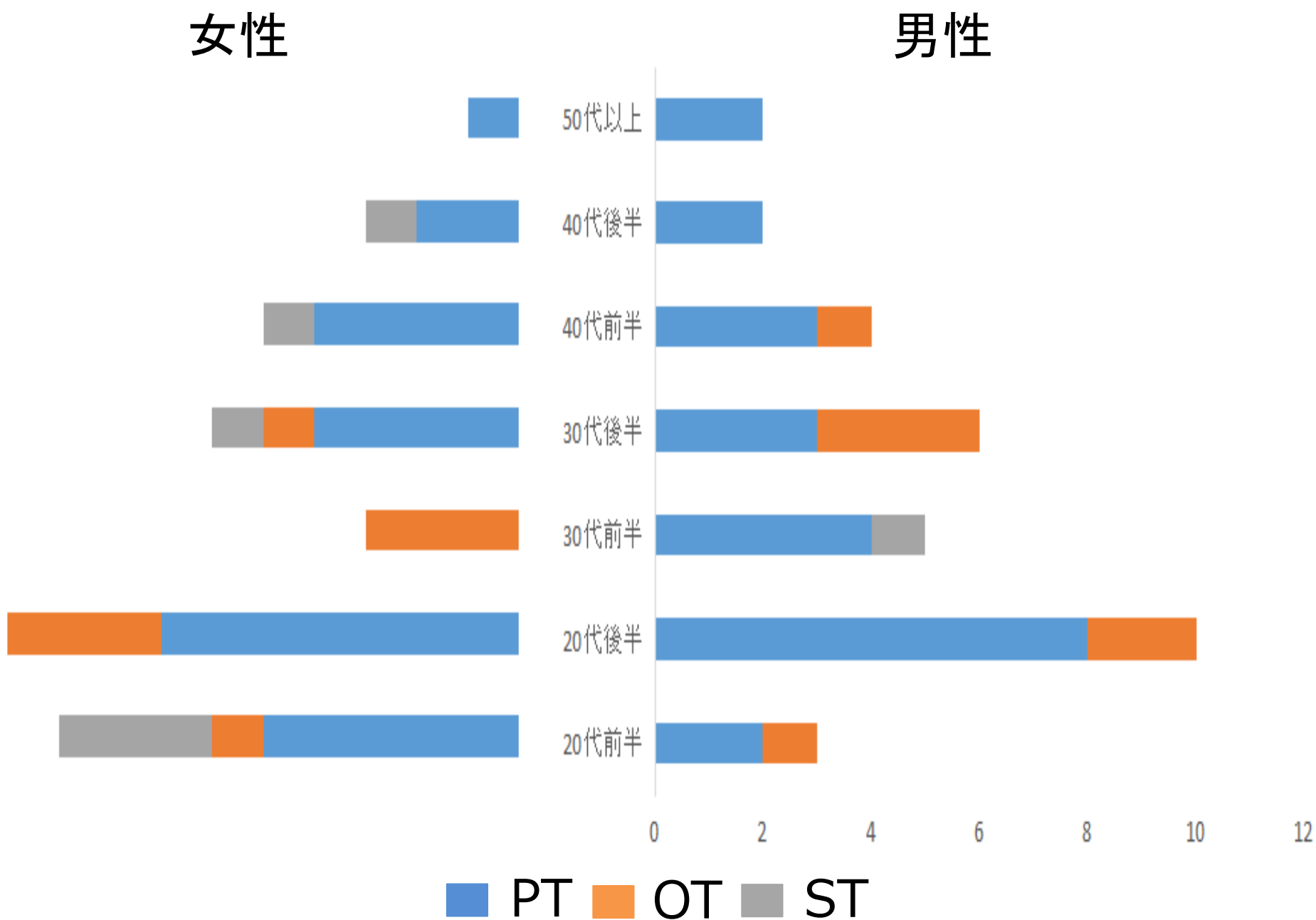
合計：88名

数字で見るリハビリテーション部



平均年齢
32.6歳
(男性33.8歳、女性31.6歳)

男女比および年齢構成



数字で見るリハビリテーション部



平均残業時間

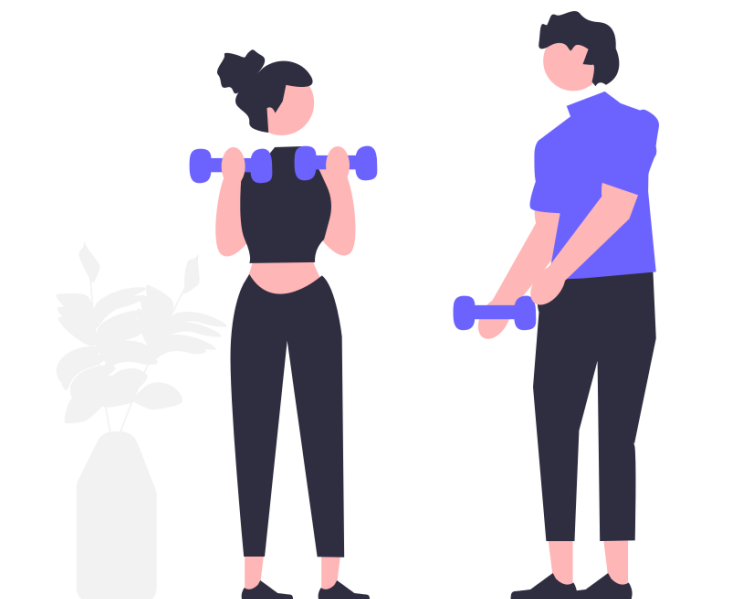
4.32時間/月



有給休暇取得率

91.2%

1年次:12日、2年次:15日
3年次以降:20日 付与



1日の担当数

7～8名

出勤人数や役割などによって変動

リハビリテーション部の1日のタイムスケジュール

AM

8:00

勤務開始

- ・各チームに分かれて申し送り
- ・電子カルテにて1日のスケジュールを調整

8:30

全体朝礼

その後、スタッフ全員でリハビリ室清掃

8:40

診療科ごとにプレゼンテーション
(毎週金曜日は部内勉強会)

9:00

午前中のリハビリテーション業務開始



PM

12:00

休憩

13:00

午後のリハビリテーション業務開始
業務の合間を使って書類業務も行います



17:00

業務終了
アフターファイブも全力投球！！

03

多職種連携の取り組みは
どんなことをしているの？



連携

多職種連携の取り組みについて



早期離床 リハビリテーション

集中系病棟では、入院後48時間以内の早期離床を推進。廃用症候群の予防や在院日数の短縮を目指し、患者の早期回復を支援しています。

リハビリテーション 栄養口腔連携体制

一般病棟では、多職種が連携し、ADL、栄養、口腔機能面から多角的に機能回復をサポートしています。全身状態の改善と在宅復帰を支援しています。

摂食機能回復体制

STを中心に、多職種で摂食嚥下障害に対する専門的な評価とリハビリなどを実施し、安全な経口摂取の実現とQOL向上を目指しています。

04

教育・キャリア支援体制は
どんな感じ？





MISSION

リハビリテーション部

Mission

だれにでも 安心・安全な 包括ケアを

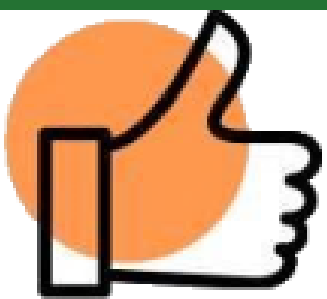


VISION

リハビリテーション部ビジョン

- 全ての方へ心のこもった質の高いリハビリテーションサービスを提供する
- 働き甲斐のある職場づくりにそれぞれが貢献する
- 人として、社会人として、職業人として、日々自己研鑽に努める
- 急性期～生活期まで幅広く対応可能なセラピストを育成する
- 関連職種を互いにリスペクトしチーム医療・ケアの推進を図る
- 地域の社会資源と連携し地域住民のくらしを支える仕組み作りに参画する





リハビリテーション部バリュー

VALUES

－ 1 －

**I am OK
You are OK**

自分も相手も価値があると互いに尊重し大切にする

－ 2 －

**質の高い
サービス提供のために**

提供するサービスは
根拠にもとづき対応を

－ 3 －

未来へつなぐために

人生100年時代を見据え
次世代を育成する

－ 4 －

**ゆいまーる精神で
ともにささえあい**

困ったときはお互い様
感謝の気持ちを忘れずに

－ 5 －

凡事徹底

日々あたりまえのことを
丁寧に実行する



浦添総合病院 新入職員教育研修プログラム



座学（15コマ）

【社会人基礎項目】

- ・コミュニケーション
- ・スケジュールリング
- ・接遇など

【臨床基礎項目】

- ・診療報酬関連
- ・感染/安全対策
- ・リスクマネジメント
- ・バイタルサイン
- ・画像データの基礎
- ・急変対応 など



実技（15コマ）

【臨床基礎項目】

- ・身体操作
- ・やさしいケア
- ・歩行介助
- ・高次脳機能障害への対応
- ・嚥下/食事介助
- ・BLS
- ・電子カルテ操作 など



臨床見学 & OJT（20コマ）

【臨床見学&臨床実践項目】

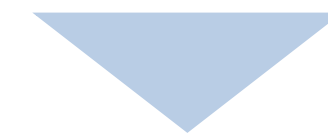
- ・各チームの見学（領域別、職種別）
- ・在宅領域の見学（訪問、通所、入所）
- ・配属チームでの臨床実践
- ・症例報告会 など

PT協会の「自施設での受講32コマ（48時間）」に対応

リハビリテーション部キャリアマップ



- 理念の理解
- 基本姿勢
- 臨床基礎能力
- 臨床実践能力
- 研究実践能力
- 教育指導能力
- マネジメント能力



個々のステージにあわせた

到達目標を設定

基礎能力習得期

応用能力開発期

管理・専門能力発揮期

管理・専門能力育成期

管理能力成熟期

04

リハビリテーションの質の向上に向けて

Q I 活動（Quality Indicator）

サービスや業務の **質** を評価・測定するための指標



学会活動

日々のクリニカルクエスチョンをもとに
臨床研究・症例報告を推奨し、診療の質
を可視化して次の診療につなげています

業務改善活動

可視化したデータなどをもとに業務の効
率化および質の向上に向けた**業務改善**活
動を推奨しています

医療の質の向上と業務の効率化を図ることを目的としながら、
スタッフが**PDCA**を回す習慣を身につけ、**問題解決能力**のUPを図るため活動を推奨しています

「わたしたちと共に、命の最前線で活躍したいあなたへ」



私たちは次のような人材をもとめています

- ① 他職種と連携し、チームの中で力を発揮できる人
- ② 状況に応じて柔軟に動ける人
- ③ 専門性を高めたいという意欲のある人
- ④ 学び続ける姿勢を持ち、患者に向き合える人

教育体制も整備し、チームでセラピストを育てます。「幅広い視点で成長したい」あなたをお待ちしています。随時見学を受け入れておりますので、気軽にお越し下さい♪
遠方の方はWeb見学も対応しております！

【対応可能日時】 月～金 9：00～12：00

【連絡先】 人事・人材開発課



@URASOU_REHABILI

☎ 098-874-4306

✉ jinji@jin-aikai.xsrv.jp

仁愛会の新たなステージを

2023年12月新病院が開院しました。

これまで積み上げてきたものを土台にして

法人の理念である「働き甲斐のある職場」を目指して
新たなステージと一緒に仁愛会の M I R A I を作りましょう

— 理事長 銘苅 晋 —